

物的資源・人的資源

療養環境の整備について

大阪府健康医療部保健医療室
感染症対策企画課
関根 温子

物的資源

適切な感染対策を行うには、ガウンやマスクなどの**个人防护具が必須！**

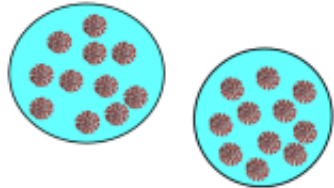
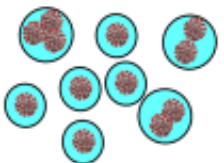
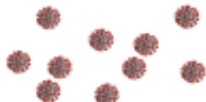
まずは、どのような个人防护具が必要なのか整理しておきましょう。

- **不織布のガウンまたはビニール製のエプロン**
ウイルスを体につけないためのものです。陽性の方と接する部分を覆うものを用意してください。
- **手袋**
陽性の方の様々な対応を手袋をしてから行います。手にフィットするものを選びましょう。
- **ゴーグルまたはフェイスシールド**
ウイルスが目の粘膜などから体内に侵入することを防ぎます。
- **サージカルマスク（エアロゾルが発生するときはN95マスク）**
鼻までしっかり覆い、隙間のないようにつけましょう。
- **ヘアキャップ**
頭部へウイルスが付着することを防ぎます。髪を確実に覆いましょう。

シューズカバーは、
脱ぐ際に手指が汚染
するリスクがあるので、
おすすめしません



表 1. 呼吸器から分泌される飛沫、微小飛沫、エアロゾルおよび飛沫核の比較

排出物	飛沫	微小飛沫、 エアロゾル	飛沫核
イメージ			
大きさ (粒子径)	5 μ m以上	5 μ m未満	1~0.1 μ m
到達範囲	2m以内	通常6m以内	共有空間全体
代表的病原体	新型コロナウイルス、 インフルエンザウイルス、 マイコプラズマなど	新型コロナウイルス	結核菌、麻疹ウイルス、 水痘・带状疱疹 ウイルス
感染対策	飛沫感染予防策	飛沫感染予防策＋ エアロゾル発生手技 時などへの対策	空気感染予防策

「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド（第4版）」より抜粋



通常は、飛沫が付着しないような感染予防策でよいですが、例えば、食事介助時や吸引処置など、エアロゾルが発生するような場面では、N95マスクを着用することがよいです。

N95マスクを着用する際は、きちんとフィットしているかを確認するために

ユーザーシールチェックを行きましょう！



①両手でマスクを覆い、息を吸ったり吐いたりします。

②空気の漏れをチェックします。



④チェックを繰り返します。



③空気が漏れている場合は、ゴムバンドや鼻当てを調整し、密着の良い位置にマスクを合わせます。

ワンポイント!!

ノーズワイヤが鋭角になると、頂点に隙間ができてしまうので注意！

図1 個人防護具の種類と着脱手順例

【通常の場合】

着用



ポイント①
シールドマスク
→ キャップ
の順に着ける

ポイント②
手袋でガウンの袖を覆う

脱衣

①ガウンと手袋は一緒に、裏返ししながら脱ぐ。

 <p>ガウンの表面をつかみ、</p>	 <p>首のゆる部分をもぎる。</p>	 <p>裏が表になるように、</p>
 <p>素手で表にふれないように</p>	 <p>小さくまとめて、</p>	 <p>捨てる。</p>

②手指衛生 ③キャップ→シールドマスクの順に
顔に触れないように外す。 ④手指衛生

		
--	--	--

②と④の手指衛生忘れずに！ 顔に触れない！ 丁寧に手順通り脱ぐ！

※図ではアイシールド付きマスクを使用していますが、マスクとゴーグルまたはフェイスシールドの組み合わせも同様です。

※手指衛生は最低限②、④のタイミングで実施しますが、手指の汚染リスクを考慮してそれ以外のタイミングでも必要に応じて追加してください。

【N95 マスクの着用を要する場面※】

※エアロゾル産生手技の実施時

着用

気道分泌物の吸引、気管挿管、NPPV装着、気管支鏡検査、心肺蘇生を行う可能性がある場合はN95マスクを使用する。

ポイント①

N95装着後はユーザーシールチェック



- a. 両手でマスクを覆う
- b. 息を強く吐き出す
- c. マスクと顔の隙間から空気が漏れないことを確認する

完成形



ポイント②

N95→シールドマスク→キャップの順



ポイント③

手袋でガウンの袖を覆う

脱衣

①ガウンと手袋は一緒に、表返ししながら脱ぐ。



③キャップ→シールドマスク→N95の頭に

②手指衛生

顔に触れないように外す。

④手指衛生



②と④の手指衛生忘れずに！ 顔に触れない！ 丁寧に手順通り脱ぐ！

物的資源

どのような個人防護服が必要なのか整理できたら、
個人防護服の在庫管理について整理していきましょう。

- 1日あたりの使用量
- 在庫量



必要量をみこんで早めに発注！

陽性者、濃厚接触者の人数 や ゾーニング によって、
使用量は変わるので注意！

ポイント

- 法人内でやりくりができるように体制を整備しておくことも重要！
- 発注しても足りない等の緊急時の備えて、
物資を供給してくれる福祉担当部局についても再確認しておくといいです。

人的資源

職員が陽性者や濃厚接触者となった場合、現在の体制で利用者に対するケアが可能か、
人員不足を速やかにキャッチできるようにしましょう！

例：定員が15人で看護師・介護士の職員が10人の施設において、
利用者1名・職員3名が陽性者となった場合を想定してみてください。

	利用者数	職員数 (看護師,介護士)
現状	14	7
平時	15 (定員数)	10

人員不足でしょうか？



人的資源

目安として・・・

看護師・介護士の合計：利用者数 = 1 : 2

だと不足していると考えられる。

	利用者数	職員数 (看護師, 介護士)	利用者／職員数
現状	14	7	<u>2.0</u>
平時	15 (定員数)	10	<u>1.5</u>



人員不足となった場合の対応をあらかじめ検討しておきましょう！

- 業務を整理して自施設内で人員を確保する。
- 外部から看護師・介護士を雇う。(ex. 看護師であれば、看護協会の人材バンク)

療養環境の整備 <食事>

使用済みの食器には唾液などが付着しており、配膳や下膳時に注意が必要です。
適切な対処をしなければ、厨房から感染が広がる可能性があります。

- 使い捨て（ Disposable ）のお弁当箱を使用することが望ましい。
→ トレーも必要がなく、食べ残しも含めてそのままゴミとして捨てることができ楽！
- 配膳車やトレーはレッドゾーンには持ち込まない、または、レッドゾーン専用のものを使用するようにすること。



療養環境の整備 <入浴・トイレ>

防護服を着用しての介護は大変！ 職員の負担を減らす方策を検討しましょう。

入浴

- ・入浴などのサービス提供を一時中断し、
清拭対応することを検討してください。
- ・もし入浴する場合は、陰性者→陽性者の順とし、
他の利用者と接触しないように配慮する。



使用後は浴室内を
洗い流し、手すりなど
を消毒する！

トイレ

- ・居室のトイレがない場合は、
ポータブルトイレを活用する。
- ・共用のトイレを使用するときには、
他の利用者と接触しないように注意する。
また、使用する個室ブースを決めておく。

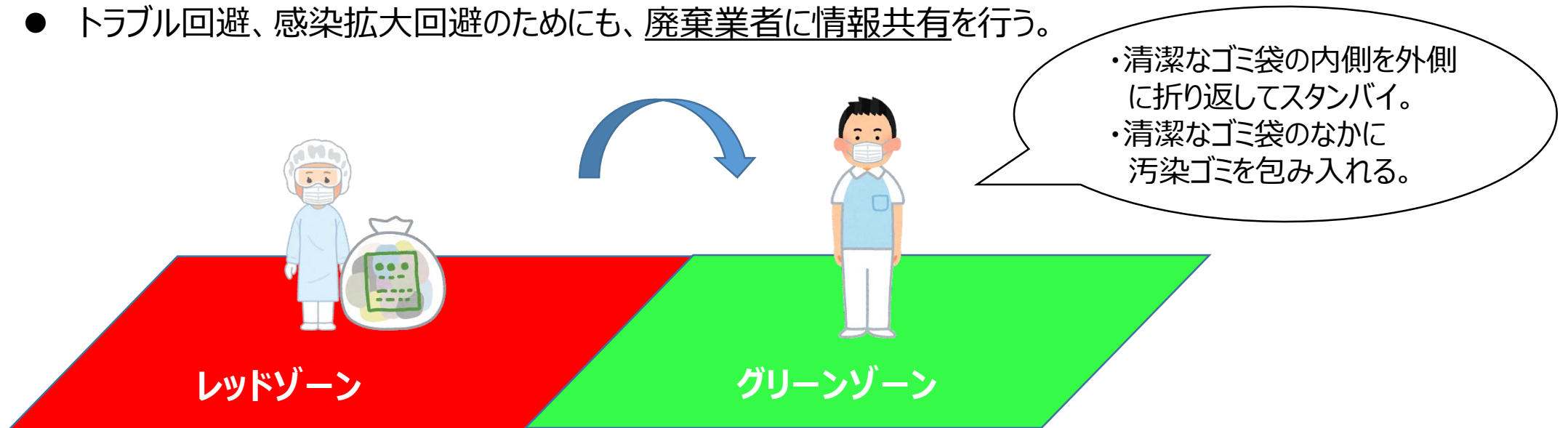


陽性者用の個室
ブースをきめておけな
い場合は、使用後に
消毒する！

療養環境の整備 <廃棄物>

陽性者（もしくは濃厚接触者）の居室から出たゴミは、集めるときも廃棄するときも、ゴミに触れてしまうことがないように注意が必要です。

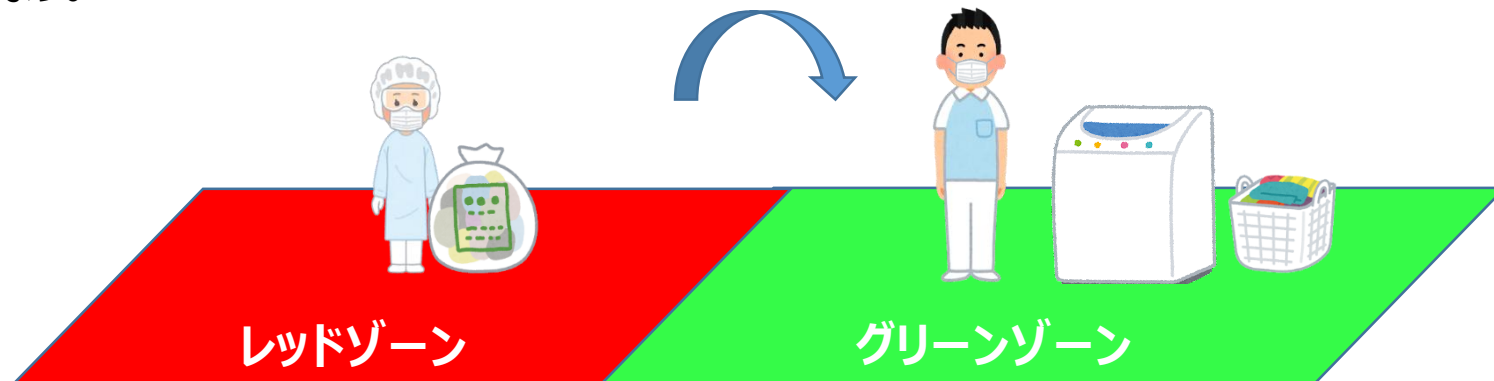
- レッドゾーンでゴミ袋をしっかりと閉じて、グリーンゾーン側で清潔な袋で受けて2重袋にする。
または、72時間（3日間）放置したうえで廃棄する。
- トラブル回避、感染拡大回避のためにも、廃棄業者に情報共有を行う。



療養環境の整備＜洗濯物・リネン＞

通常の洗濯でウイルスは十分不活化できるため、
洗濯機に入れるまでの取扱いを注意することが重要です。

- レッドゾーンでゴミ袋をしっかりと閉じて、グリーンゾーン側で清潔な袋で受けて2重袋にする、
または、72時間（3日間）放置したうえで、洗濯機へ入れる。
- もし、洗濯機のまわりに触れてしまった場合は、アルコール消毒を行いましょう。
- 業者に委託している場合、トラブル回避、感染拡大回避のためにも、洗濯業者に情報共有しましょう。

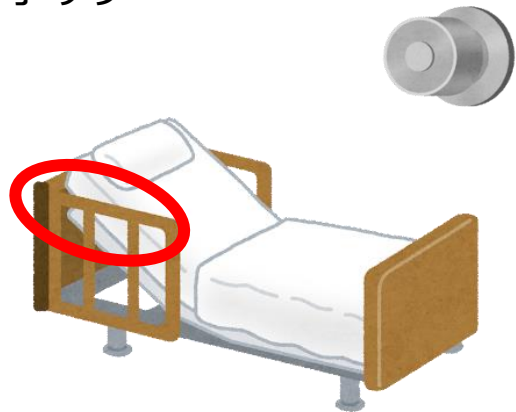


療養環境の整備＜清掃・消毒＞

清掃・消毒は人がよく触れるところを、拭き掃除で行いましょう！

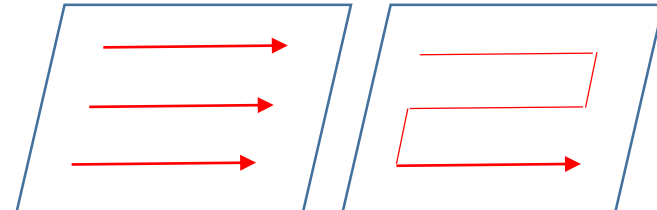
よく触れる箇所

- ・ドアノブ
- ・電気のスイッチ
- ・椅子の背もたれ
- ・手すり



消毒の方法

- ・スプレーでは消毒液が「点」でつくだけで、「面」を消毒できません。
- ・消毒したいところにスプレーをふきつけるのではなく、拭き掃除で一方向で行いましょう！



●モノに付着したウイルス対策

	対象	使用方法	注意事項
アルコール	—	濃度70%以上95%以下のエタノールを用いて拭き取ります。	引火性があるため <u>空間噴霧は絶対にやめてください。</u>
熱水	食器や箸など	80℃の熱水に10分間さらします。	やけどに注意してください。
塩素系漂白剤 (次亜塩素酸ナトリウム)	テーブル、ドアノブ	市販の家庭用漂白剤を、次亜塩素酸ナトリウムの濃度が0.05%になるように薄めて拭きます。 その後、水拭きしましょう。	<ul style="list-style-type: none">・塩素に過敏な方は使用を控えてください。・目に入ったり皮膚についたりしないよう注意してください。・飲み込んだり、吸い込んだりしないよう注意してください。・酸性のものと混ぜると塩素ガスが発生して危険です。・<u>「次亜塩素酸水」とは違います。</u>・金属製のものに使用すると、腐食する可能性があるため注意してください。



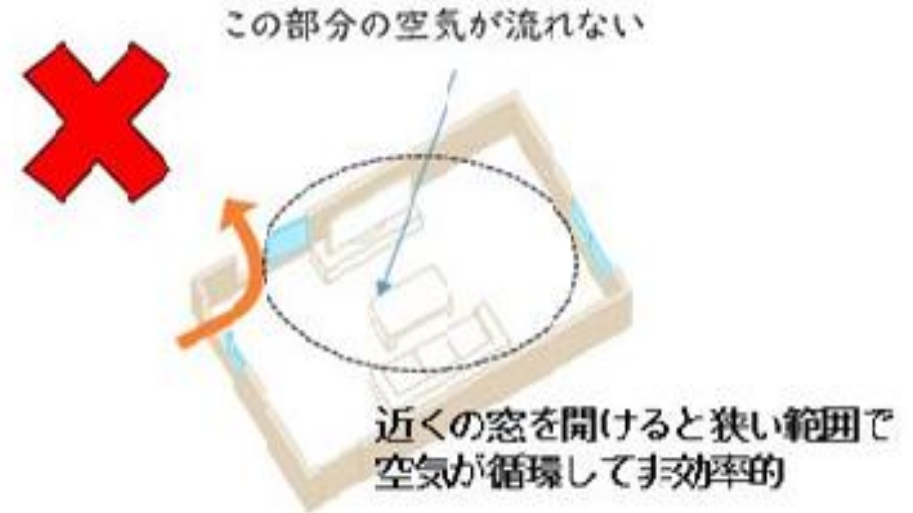
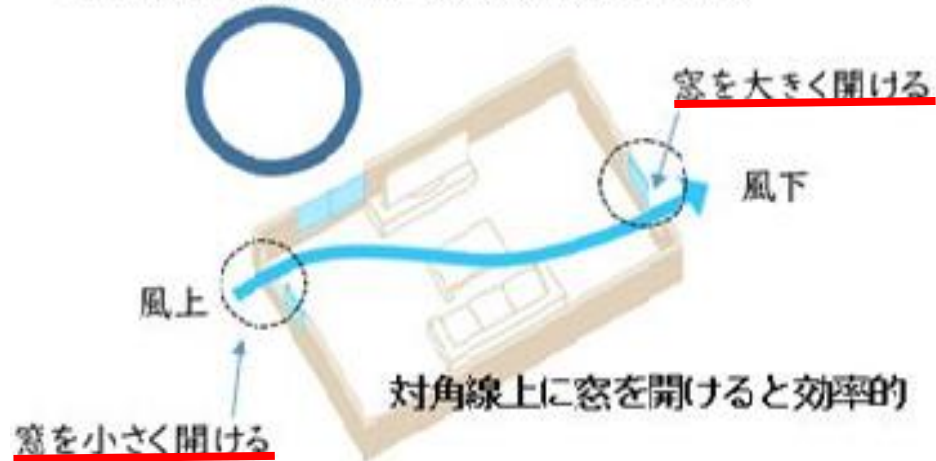
- ・市販の家庭用洗剤は有効でないものもありますので、有効なものを選ぶ必要があります。
- ・次亜塩素酸水も、一定の濃度のものを十分な量使用する必要があります、使用期限もたいへん短く、光に弱いです。

療養環境の整備＜換気＞

ウイルスを室外に排出するためには、グリーンゾーンを風上に、レッドゾーンを風下になるように換気扇を活用して空気の流れを作りましょう。

開けられる窓が2か所以上の部屋

注意点:グリーンゾーンを風上になるようにする
理由:風上から風下に空気の流れを作るため



療養環境の整備＜換気＞

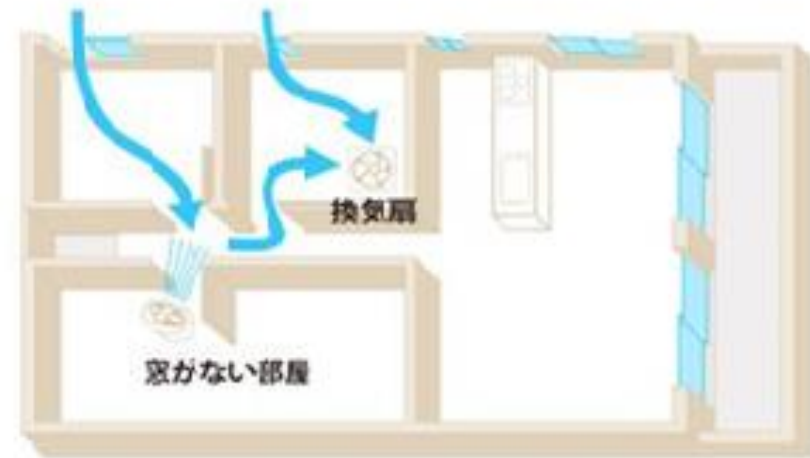
開けられる窓が一か所しかない部屋

注意点: 部屋のドアを全開にし、窓もしくは換気扇に向かってサーキュレーターを送る

理由: サーキュレーターをドア側に向けてしまうと、汚れた空気が外に出ていきにくくなる



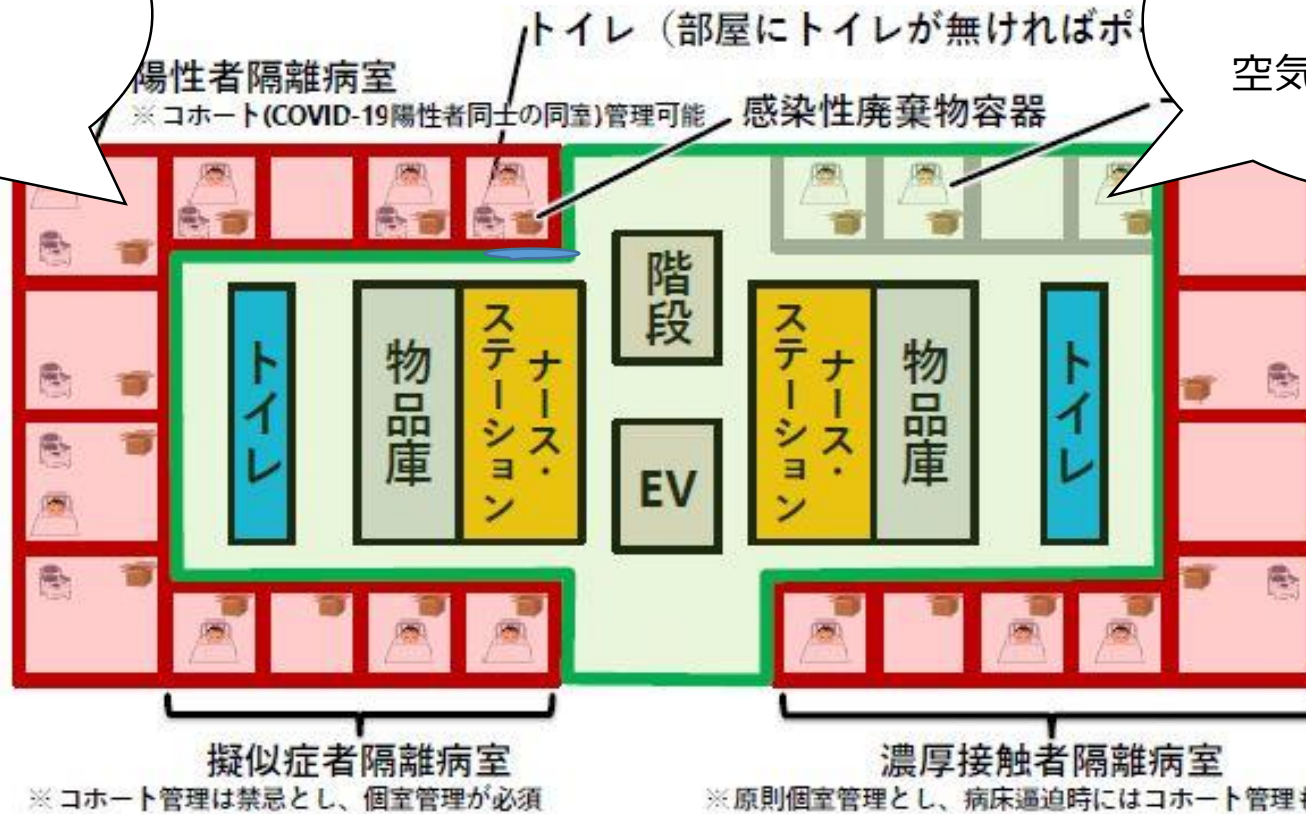
窓がない部屋



部屋のドアを開けて、扇風機などを置いて部屋の外に空気が流れるようにする

療養環境の整備<換気>

陽性者や濃厚接触者の居室は、**窓を閉めて換気扇をまわし、**空気をだしましょう。

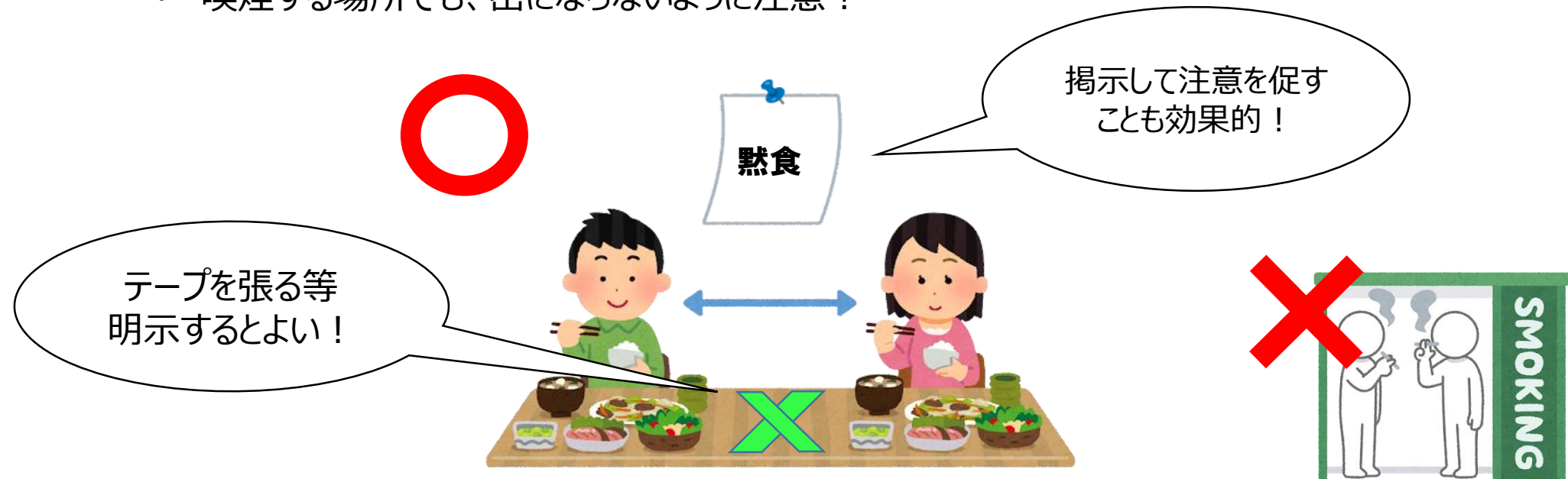


グリーンゾーンは、**窓をあけて**空気をとりこみましょう。

療養環境の整備＜職員の休憩場所＞

職員の休憩場所についても、感染のリスクはあります。基本的な感染対策を徹底しましょう！

- ・ 更衣室や休憩場所で密になることがないように配慮しましょう。
- ・ 特に、食事などマスクを外す場合には、時間をずらすようにしましょう。
- ・ 喫煙する場所でも、密にならないように注意！



療養環境の整備＜職員の休憩場所＞

★こまめに手洗いをしましょう！特に食事をする前はしっかり！

- 手や指についたウイルスの対策は、洗い流すことが最も重要です。
- 手や指に付着しているウイルスの数は、流水による15秒の手洗いで1/100に、石けんやハンドソープで10秒もみ洗いし、流水で15秒すすぐと1万分の1に減らせます。

手洗い方法



①石鹸をとる



②泡立て手のひらを洗う



③指の間を洗う



④爪を洗う



⑤手の甲を洗う



⑥親指を洗う



⑦手首を洗う



⑧流水で流す



⑨ペーパータオルでふく

手洗いの方法を
掲示して注意を促す
ことも効果的！